

広報紙「よりよいかかわりを求めて」は、一宮市や各学校で取り組んでいるいじめ対策について、保護者の皆様に知っていただき、力を合わせて安心・安全な学校をつくっていくことをねらいとしています。

一宮市いじめ対策推進委員会では、いじめの未然防止に向けて、次のような活動を進めています。

小学校【スクールライフノートの活用】

昨年度、市内すべての小学校において「スクールライフノート」が導入されました。スクールライフノートには、子どもたちが今の自分の気持ちを天気にとえて入力する「心の天気」という機能があります。これを活用し、子どもたちの気持ちの変化や困りごとを把握しています。また、子ども自身が自分の気持ちを振り返る機会にもなります。自分自身をよりよく理解し、気持ちの整理や感情のコントロール力を育てていけるよう支援していきます。



中学校【いちみん相談室の活用】

市内中学校では、生徒の悩み等の早期発見、早期対応につなげるために、学習者用タブレット端末(Chromebook)や、自宅パソコン及びスマートフォン等から、子どもたちが悩み相談を学校に申し込むことができる「いちみん相談室」サイトを運用しています。いちみん相談室は次の3つからなります

<p>①「デジタル相談ポスト」 学校にいる先生などに相談を申し込みます</p> <p>学校の先生に相談</p>	<p>②「他の相談窓口」 さまざまな相談機関の連絡先がのっています</p> <p>学校の先生以外に相談</p>	<p>③「いちみんアドバイス」 「自分の心との付き合い方」や「ネットやSNSで困ったときの対処法」等がのっています</p> <p>いちみんアドバイス</p>
---	---	--

自分のパソコンやスマートフォンでアクセスする方法

- ①学校で使用している自分のID、パスワードでGoogleにログインする。
- ②画面左上の教材リンクからアクセスする。



特集【SNSいじめを「生まない」家庭の対話】

SNSのトラブルは、悪意がなくても始まってしまいます。加害者にも被害者にもならないために、夕食時の話題にしてみませんか？

1. 「いじめ」の加害者にならないための3つの想像力

SNSでは相手の顔が見えないため、攻撃性が高まりやすい傾向があります。加害者にならないための「心のブレーキ」を育てる対話です。

「指先ひとつで一生の傷」：投稿ボタンを押す前に、「これを自分の家の玄関に貼り出せるか？」を問いかける。ネット上の言葉は一度放つと「消せない」ことの再確認。

「いじり」と「いじめ」の境界線：「みんなが笑っているから」は免罪符になりません。

本人が嫌だと言えずに笑って合わせている可能性（同調圧力）について親子で話す。

「正義感」という罠：「悪いことをした子を叩いていい」というネット上の風潮がいじめを正当化する入り口になるリスクを伝える。

2. 「トラブルの種」をまかない デジタル・マナー

「感情的な時はスマホを置く」：怒りや悲しみに任せて発信した言葉は、トラブルに発展してしまうことも。「頭が冷えるまで返信しない」という家庭内ルールを。

「スクショ・転載」の厳禁：「友達だけの秘密」を他人に送る、勝手に写真を加工して載せる。こうした「信頼の裏切り」が連鎖の始まりになってしまうことも。

「見えないニュアンス」を補う：文字だけではトーンが伝わりません。誤解を招きそうな時は「冗談だけど」と付け加えるか、直接会うまで大事な話は控えることが大切です。



いじめの未然防止・早期発見を目指し、いじめ等対策主任者会を開催しました

5月29日（金）、第1回いじめ等対策主任者会を開催しました。一宮市教育委員会から、実際の事例を取り上げながら、いじめの定義と認知についての確認や、未然防止・早期発見や校内情報の共有、組織による早期対応等の重要性について指導がありました。

また、会の中で主席スクールカウンセラー関口恵子先生から指導・助言をいただきました

AI時代だからこそ、「人を信頼する経験」を

子どもたちの相談相手の上位を占める「AI」ですが、最後には「あなたが信頼できる人に相談してみよう」と答えるそうです。では、子どもたちはどうやって「信頼できる人」を探せばよいのでしょうか。「話し合い活動」の中にヒントがあると思います。子どもたちは話し合いを通じて、「相談するスキル」を磨き、「人を信頼する経験」を積み重ねます。その中で初めて、「この人なら本当に信頼できる」という仲間や大人に出会うことができるのです。いじめ対策の本質は、孤立を生まないことにあります。子どもたちが安心して本音を語り合い、SOSを出せる力を育めるよう、日々の話し合い活動を大切にしていきましょう。

笑顔で登校できる学級・学校づくりをめざして
～人と人とのよりよいかかわりを求めて～

いじめが起りにくい 土壌づくりに努めます

お子さんの主体的な活動を促し、お子さんのコミュニケーション技術を向上させ、よりよい人間関係づくりができる力を育てていきます。

いじめ未然防止に向けて 日常的な対策を強化します

各学校におけるアンケートや面談の実施、相談箱の設置、いじめの事例検討など、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた対策の強化を図ります。

相談先は、学校だけでなく、各相談機関もあります。学校ウェブサイトの相談窓口一覧を参考にして、ご利用ください。

